

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年1月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4677700173号
法人名	有限会社 三木
事業所名	グループホーム おおきな木
所在地	鹿児島県肝属郡南大隅町根占川南3611番地 (電話) 09994-24-2001
自己評価作成日	平成22年10月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48-13
訪問調査日	平成22年10月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の笑顔がみられるようなケアを心がけ、本人の意向が叶えられるように努力している。利用者の小さなサインが見落とされないような関わりがもてるようにしている。

当ホームは閑静な住宅地にあつてホームのシンボルである古いおおきな木が来訪者を出迎えてくれる。ホームの正面にあるおおきな木の周囲には手作りベンチがあり、利用者、地域住民のくつろぎの場になっている。老人クラブやボランティアの方々との交流会、スポーツ大会参加など地域とのふれあう機会が多い。運営者の「いずれは自分も世話にならなくてはならないから、自分が入りたいようなホームを作りたい」という一念で5年半を経過している。管理者、職員も笑顔を大切に利用者の声を汲み取ることに努め、小さなサインも見落とさない関わりを重視したケアに取り組んでいる。排泄の自立支援にも力を入れ、利用者にあつたトイレでの排泄支援を試行錯誤、工夫しながら取り組んでいる。毎朝、ユニット毎に理念を唱和し、笑顔の絶えないホームづくり、風通しのいい職場づくりを、日々確認しながら努力している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	その日のリーダーが一日のケア目標を掲げ発表し他の職員も認識してケアに関わっている。	理念や職員の心構えをユニット毎に毎朝唱和し、「笑顔」の絶えないホームづくりを目指すことを確認している。常に利用者側に立ったケアを意識しながら実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	友人や近所の方の訪問はあるが日常的ではない。	地元の利用者がほとんどで、地域の行事や町民運動会、生き生きサロンに参加している。スポーツ少年団やボランティアの訪問があり利用者参加のゲームや踊り、楽器演奏など楽しんでいる。家族、友人、近隣の方々とのふれあいも毎日のようにある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症の人への理解や支援方法について地域に貢献していない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	去年がインフルエンザの為実施ができてなかったが2カ月1回の割合で実施できている。	運営者、管理者、計画作成担当者、行政、民生委員、家族体表が参加し、定期的に開催している。地域の高齢者向け茶和会の情報をもらい、利用者が参加できるようにしている。また、地域で認知症についての説明や相談に応じる機会を得るなど会議での意見をサービス向上に活かしている。	

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	家族会に行政担当者も参加してもらい意見交換している。	家族会にも参加してもらい、直接家族の思いなど聞いてもらっている。また行政の助言により、同業者との交流を実施している。生活保護需給者もいて、常に情報を共有し市町村との協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関や入り口ドアに鈴が鳴るようにして音で確認している。	身体拘束しない方針で、外部研修に参加し、情報を共有している。施錠はしないで、玄関や入口に鈴をつけて見守るケアを重視している。また地域住民、警察の協力も得ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事例に通じて内部研修会をしたが更に回数を増やしていきたい。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全職員が理解不十分なので、今後研修を通じて取り組みたい。		

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	改定の際は文書で知らせたり疑問な点はその都度説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族にアンケートを取り、状況把握し運営に反映できるようにしている。また家族会に内容を報告している。	事前にアンケートを実施し、意見を聞いた上で家族会を年2回開催し、回答および説明を行っている。家族会での意見を運営に反映させている。月1回請求書と共に利用者の詳細な近況報告を担当職員のコメントと一緒に郵送している。変化があればその都度電話などで報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者が職員会議で報告するかたちを毎月実施している。	運営者は業務推進会議や職員会議で、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。また個々に相談できる機会を設け、風とおしの良い職場環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は給与水準向上に努め働く環境整備に努めている。		

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間の研修計画をたてて実施したが、一部実施できてないので取り組みたい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>去年の課題でもあったが、相互訪問し意見交換を2回実施し交流会も行った。ただ1ヵ所の事業所なので他2ヵ所の事業所も一緒にできればと思っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者との面談の中で不安・困りごとを聞くようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族同士の意見の食い違いをそれぞれで理解し、思いや苦しみの理解に務めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談や問い合わせがあれば相談窓口となる機関につなげている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事作りを月に1回のペースで行い入居者から学ぶものがあった。		

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	以前の様子を聞いて日課にしていた事や楽しみ等聞き入れてケアに役立てるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地元の方が多いため病院や店に行っても馴染みの方々がいて会話がはずみいい関係が築けている。	地元のかかりつけ医の受診やなじみの店での買い物、理美容院利用などを支援している。親戚、知人の面会や法事、墓参りなど、外出、外泊も家族の協力をもらい、なじみの人や場所との関係を維持している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	相性も考えて距離感を考えお互いが相手を思いやれるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後や入居完了した家族から電話が来たり遊びに来たりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの意向や要望を聞き出せるように話す場を設けている。	定期的に管理者が利用者個々の思いや要望を聞く機会を設けている。個々のやりたい事、出来る事を話し合い、思いや意向の把握に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	暮らしや生活歴について家族や本人から聞き出している。	/	/
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者の一日の過ごし方について把握はしているが記録はしていない。	/	/
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者が一緒にやることで、介護計画の意味理解ができてスムーズにできるようになり、更に内容深くできるようにする。	家族、利用者、計画作成担当者、担当職員が中心となり職員全員で話し合い、それぞれの意見を反映させた介護計画を作成している。3ヵ月に1回のモニタリングを、家族も参加し行っている。見直しは更新時、状態変化時に行い、新たな要望や変化はないか常に確認している。	

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	サービス内容チェックを毎日し、そこで気づいた点をあげ、評価に取り上げて検討している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出や入退院時の送迎支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生員やボランティアを活用した取り組みをしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の希望でかかりつけ医を決め、受診できるようにしている。	利用者、家族の希望するかかりつけ医の受診が継続できるように支援している。	

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	普段とちがった時や小さなサインも相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療ソーシャルワーカーと担当医との話し合いの場を設け、退院に向けて話し合いを行って顔見しりになっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居者の状況により時期を見て話し合いをし、他の家族と意見の食い違いが起きないようにしている。当事業所のできる事やできない事は伝え、家族の思いを近づけられるように努力している。	利用者の状態に合わせ、その都度本人、家族の意思確認し、医師の意見を取り入れ経過を記録している。看取り指針の作成はないが、ホームでできる事、できない事の詳細を説明し、医師や家族、職員の協力を得ている。	すべての関係者が共有する看取り指針を明文化したものを作成し、早い段階からホームの取り組みを説明できることが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が救命士の講習会を受け、市民救命士のいる事業所として応急手当コンテストに毎年参加し、良い成績をおさめている。		

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の分団との訓練実施に取り組んでいる。</p>	<p>年2回地元消防分団、地区住民との訓練を実施している。職員会議で年3回は自主訓練も行い避難誘導経路や連絡先の確認、救急蘇生法など訓練している。消火器、緊急通報装置や緊急時に備えの食糧、水の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	子供扱いするような声掛けや、排泄の時プライバシーに注意しているが、全員へ浸透はできていない。	誇りやプライドを損なわないように個々にあった声掛けや対応に心がけ、毎朝の申し送り時に職員の意識向上を図っている。また、職員採用時には、個人情報保護についての誓約書もとっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者だけの話し合いの場を設け、一人ひとりの思いや希望を聞いて家族会や面談時にその希望を伝えて実践している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人中心に考え体調を考慮したり表情確認をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	行きつけの美容室を利用している方も支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下膳できる方が他のかたの分まで片付けたりしている。	月1回は職員と利用者が一緒に調理をする機会をつくり、利用者の希望をとりいれた食事を楽しんでいる。調理士の免許をもつ職員がいて盛り付けや味が美味しく、利用者、職員とも和やかな雰囲気のもと食事し、各行事食や手作りケーキなども作って楽しんでいる。	

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスでは、知人の栄養管理者の献立を見て参考にしている。水分については一日の中で同じものは出さないで変化させて飲んでもらっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行いトラブルがあれば近くの歯科医の訪問診療を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツの使用量が多い方は話し合いをし減らせる工夫をしたりなるべくトイレ使用できるようにしている。	個別記録、業務日誌を利用して排泄チェックし、尿意の無い利用者にも時間を見ながら誘導して、排泄リズムができるよう支援している。車椅子の人もトイレでの排泄を促している。リハビリパンツが布パンツに改善されるよう、利用者、職員共に努力している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤は使わず、自然排便ができるように水分量を多くしたり、繊維の多い食材を使っている。		

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴中に色々な話や声かけをし気持ちよく入れるように介助している。ケアプランのサービスでも反映している。	入浴はいつでも可能である。声掛けや話をしながら気持ちよい入浴を個別に支援している。浴室も広く、更衣室は温度差が発生しないよう暖房設備が完備している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	活動が多い時は30分くらい昼寝してもらい休憩している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	新しく内服処方された場合は副作用を申し送りしたり薬局に薬の相談したり問い合わせしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できることを見つけてやってもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出する機会がすくない。	朝夕、散歩や買い物に出かけ、地域住民、友人と会話している。家族の協力を得、個別に季節ごとの行事に参加したり、外食、外泊している。車椅子利用者も一緒にドライブしたり地域の行事に参加している。	

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>3人の方が自分の財布を持ち、外出時は財布が使えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をかけることが少ない。よそにいる方には手紙を送ったりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>一日の中で静かな時間を設けるように取り組んでいる。玄関や外に設置しているベンチを利用している。</p>	<p>居間、食堂は広々と天井も高く、一角に畳スペースがあり、ゆとりのある明るい空間になっている。壁には季節ごとの飾り付けをし、季節感を味わえるよう工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人で過ごせる空間がなく玄関ホールでゆっくり外を眺めたりしている。</p>		

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花が好きな方には家族に相談し鉢を置いたり位牌を置いたりしている。</p>	<p>ベッド以外は利用者の好みのもので、昔なじみのタンス、机、位牌、小物などを持ち込んでいる。また、家族の写真を飾ったりして利用者の個性あふれる居室になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>分かりやすい表示を設け危険な場所には色で目印をしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームおおきな木 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない